

畜産茨城

第459号

平成28年3月22日



目次

第43回常陸牛枝肉共励会開催(平均144万円突破) 現役プロレスラー大仁田 厚氏 常陸牛宣伝部長に就任… 1	第15回茨城県堆肥コンクール表彰式及び 土づくりセミナー開催される… 8
平成27年度畜産技術セミナーが開催されました… 2	第59回茨城県肉用牛共進会 …… 9
ソフトグレインサイレージの現状! …… 3	平成28年1月市況 …… 10
「ミルスタ」の近況報告 …… 4	地方競馬 場外発売日程 …… 10
デュロック種の系統造成について… 6	平成28年2月市況 …… 11
飼養衛生管理状況の定期報告提出お済みですか! … 7	新マルキン発動状況… 11
	ラップサイレージは産業廃棄物として正しい処理を… 12

発行所/茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029(231)7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人/加倉井 豊邦

第43回常陸牛枝肉共励会開催(平均144万円突破)

現役プロレスラー大仁田 厚氏 常陸牛宣伝部長に就任!!

茨城県常陸牛振興協会 事務局長 谷口 勇



左から大仁田厚
名誉賞受賞者 宮本守正
常陸牛男爵

茨城県常陸牛振興協会主催の第43回常陸牛枝肉共励会を3月7日から3月9日にかけて、東京中央卸売市場食肉市場において開催しました。

今回は80頭規模に拡大し、市場関係者に常陸牛の存在感と安定した供給力をアピールしました。

3月7日(月)に中央家畜市場に集結した、雌牛13頭、去勢牛67頭を順次生体重を量り、10頭毎に並べ80頭揃った風景は実に壮観でした。

当日は新聞社の取材や、協会が依頼した撮影クルーも揃い華やかな雰囲気でした。参加者がそれぞ

れ名誉賞と最優秀賞を選ぶ投票に、真剣な眼差しで、血統や目の前の牛を見比べながら投票していました。8日に品川プリンスホテルで関係者との交流を図る前夜祭には、川津会長や県畜産課をはじめ、多くの方が出席し、この中に元参議院議員でプロレスラーの大仁田 厚氏が常陸牛宣伝部長に就任していただけると言うことで出席され、会場は大いに盛り上がりました。震災から5年のもやもやした空気を一掃するかのようでした。

2 pに続く

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

審査員により慎重なる審査の結果、名誉賞にはつくば市の宮本 守正さんの去勢牛「芝桜」に決まりました。枝肉重量515kg、ロース芯面積92cm²、BMS12と文句つけようがない堂々の常陸牛でした。セリでは(株)コーシン(橋本畜産(株))が競り合いの末3,603円で購買しました。最優秀賞には八千代町の古沢 茂和さんの「民百合」号が選ばれ(株)石井大一商店が2,917円で購買。買参対策として、前夜祭や主な仲卸への訪問等を行い、このような対策や常陸牛の需要が相まって、1頭当りの平均販売金額は1,448,789円と144万円の大台に乗りました。過去最高となり平均販売単価は2,602円、平均枝肉重量は557kgでした。入

賞牛12頭の平均販売単価も過去最高の2,917円で枝肉販売金額は166万円でした。

販売金額、枝肉単価は前回は大幅に上回り、市場関係者からは、80頭の規模で雌牛が13頭入った中で、144万円台の共励会は称賛に値する快挙であると、健闘を称えられました。常陸牛刻印率も96%、質、量とも銘柄牛に値すると高い評価をいただきました。

褒賞式では、川津会長から出品者および関係者に対し日頃の努力に対しねぎらいとさらなる発展を目指して頑張りましょうとの言葉をいただきました。

受賞者は以下のとおりです。

・名 誉 賞	出品番号47「芝桜」号	宮本 守正	単価3,603円	購買者(株)コーシン(橋本畜産(株))
・最 優 秀 賞	出品番号69「民百合」号	古沢 茂和	単価2,917円	購買者(株)石井大一商店
・優 秀 賞 1 席	出品番号 2「ひさかつ」号	新妻 洋治	単価2,980円	購買者(株)丸全
・優 秀 賞 2 席	出品番号79「五月晴」号	(有)加藤牧場	単価2,842円	購買者アンデス食品(株)
・優 秀 賞 3 席	出品番号25「光輝58」号	市村あつ子	単価2,815円	購買者(株)富作商店
・優良賞7点	出品番号 5「よしみ427」号	佐藤 治彦	単価2,899円	購買者マルイミート(株)
	ほか6点			

平成27年度畜産技術セミナーが開催されました。

茨城県県西農林事務所

2月26日(金)、筑西市内において、筑西市畜産振興協議会、茨城県西肉用牛肥育技術研究会、独立行政法人家畜改良センター茨城牧場共催による畜産技術セミナーが開催されました。当日は畜産農家のほか畜産関係団体、市町、国、県など行政機関から56名の参加がありました。このセミナーは、筑西市を中心とした畜産関係者が集まる貴重な機会として毎年度開催されています。

今年度は「昨今の畜産情勢とその対応」をテーマとして畜産業界の最大の関心事となってい



るTPP関連対策について、農林水産省関東農政局から直接説明いただきました。

また昨今畜種を問わず様々な家畜

伝染病や疾病の発生リスクが以前に増して高まっており、未然の防止対策及び発生時の迅速な対応の重要度が増していることもあり、県西地域において今シーズン発生のある豚流行性下痢(PED)と、近年注意喚起されている牛の異常産など引き起こすアルボウイルス感染症について情報提供がありました。

さらに、稲作とブロイラーの農畜複合経営で有機農業を実践されている事例発表が最後に行われました。

1. 講演について

一つめの演題として、関東農政局生産部畜産課長 和田 剛氏より、「総合的なTPP関連政策大綱」を踏まえた畜産分野の対策について説明がありました。2本柱のうち攻めの農林水産業への転換では、畜産クラスター事業の拡充のポイントを中心に、経営安定・安定供給のための備えについては、牛マルキン、豚マルキンの

改正点を中心に説明があり、その他影響の試算や実際の発効日はいつになるのかなど説明がありました。

二つめの演題として、県西家畜保健衛生所の水野係長から豚流行性下痢（PED）について、管内の発生事例からみる発生予防及びまん延防止対策について講演がありました。PEDウイルスの特徴、症状、生存期間、有効な消毒薬など基礎知識の説明、国内外の発生状況など情報提供のほか、例えば糞便1g中100億個のウイルスを10個以下に減らすには3回以上の消毒が必要、など大切なポイントについて説明がありました。また管内の優良対策事例から、万が一発生した場合でもポイントとして、発生後2週間までの対応が重要であり、基本的な消毒実施や発生豚舎の空舎期間をおくなど対策をとることで早期の沈静化が可能であることが説明されました。肉用牛など他の畜種においても伝染病対策として通じるものがあり参考になったと思います。

三つめの演題として、同じく古谷係長からは、牛アルボウイルス感染症について講演があり、牛流行熱、イバラキ病、アカバネ病などの原因、症状、予防について説明がありました。今年度

の県内の検査ではウイルスは動いていないとのことですが、いったん妊娠中の母牛に感染すると、死産や異常産子の分娩といった大きな被害が発生するので注意が必要であり、ワクチン接種と蚊やヌカカなど媒介動物の防除対策の重要性を認識する機会になりました。

2. 事例発表について

株式会社大嶋農場の大嶋康司代表取締役から「再生産のできる農業経営」と題して、農業経営の考え方、こだわり、これから取り組もうとしていること、若い人材の育て方等を話されました。「百笑米」という独自ブランドで販売し、有機栽培、特別栽培、食味の向上を目指した研究と生産、さらに料理との相性にこだわった米生産など、常に消費者は何を求めているのか、ニーズに対応した積極的な商品開発を行うなど、大嶋さんの人並み外れた行動力、決断力は参加された方にとって大いに刺激となり、参考になったと思います。



ソフトグレインサイレージの現状！

茨城県農業総合センター専門技術指導員 本谷 直

○はじめに

県内では、水稻の多目的活用の中で飼料用稲（飼料用米、稲WC S）が推進され、平成27年度は飼料用米7,011ha、稲WC S 586haが作付されました。その中で、平成26年度から新たな利用方法として技術体系化チームを中心に、粳米を粉碎し、水分調製と乳酸菌を添加し発酵させた、ソフトグレインサイレージ（以下SGS）が取り組まれています。今回は平成27年度の成果と県内の動きについて紹介します。

○技術体系化チームの取り組み

茨城県農業総合センターでは、県北地域に多い繁殖和牛へのSGS給与を目的に、平成26年度から普及センターや畜産センターなどで構成する「技術体系化チーム」で、大子町を中心に

SGSの調製方法について検討を行っています。その中で、平成27年度の成果について、いくつか紹介します。

①作業工程の検討

水分と乳酸菌を添加し、混合する時にミキサーを用いることで、作業時間を約25%削減出来た。（写真1）



②脱気方法の検討

詰め込み時に掃除機で脱気を行っていたものを、脱酸素剤を使うことで、脱気工程を省略できた。

③カビの抑制効果の検討

詰め込む際に容器の上部にカビの発生が見られましたが、脱酸素剤と同時にエタノール蒸散剤を使うことで、従来の方法に比べてカビの発生を抑えることができました。

④ホルスタイン雄子牛への給与検討

新たな給与方法として、ホルスタイン雄子牛に給与試験を行いました。嗜好性は良好なことが確認され、今後スターターの代替の可能性が見出された。

⑤容器の検討

県北地域の和牛繁殖経営では、飼養頭数が少ないため、一日の使用量が少なくなります。そのため、開封から1週間程度で使い切る容器が最適になります。また、持ち運びも容易に出来るように60Lの漬物樽に30kg程度詰め込んだところ、遜色なく発酵品質が確保され、活用の目途がついた。

○新たな動きについて

- ①スマートフィーディング事業（肉用牛生産者協会）の取り組み

平成27年度から、国の事業を活用して取り組みが始まりました。今年度はファームオアシス（筑西市）でSGSの調製を行い、それらを希望者に給与してもらう方式で行いました（かすみがうら市、常陸大宮市）。どの農家でも嗜好性は良く飼料として問題無いことが確認されました。平成28年度は城里町での取り組みも計画されています。

②畜産センターでの取り組み

畜産センターでは平成27年度から、SGSの蛋白質含量を高めるため、調製時にオカラを添加する試験を実施しています。今後、給与方法などを含めた成果が出てくる予定です。

○今後の展開

水稲の多目的活用が推進されていますが、飼料用米・稲WC S・SGS等、家畜飼料としての供給もその一環です。これらは一概にどれが良く、どれが悪くと言えるものではなく、それぞれに長所・短所があります。地域の実情や水稲農家、畜産農家のそれぞれの状況を考慮しながら実施していくことが大切です。

「ミルスタ」の近況報告

茨城県牛乳普及協会
事務局長 市村 章

茨城新聞日曜版テイストに「ミルスタ」が紹介掲載されたのが2015年6月7日。

以来、この効果もあって売り上げは堅調に推移しております。

J R水戸駅の南北を結ぶ通路に面した改札口近くに県産牛乳の広告塔としてオープンしたのが東日本大震災前の2010年3月8日。既に6周年を迎え7年目に入ります。

県内各乳業メーカーのビン入り牛乳、ヨーグ

ルトと共に、最近、県産果物を使ったミルクシェイクの注文が多くなってきました。

「創意工夫して牛乳の新しい出会いの形を提供していきたい。そして牛乳の持つ効能についても発信の場としたい」のコンセプトと共に、実際にそのパターンが定着化されてきております。

それは、J A水戸茨城町産メロンを使ったミルクシェイクを昨年5月から夏本番の8月いっ

ばいまで販売。その後「いばらき秋梨フェア」で秋梨ミルクシェイクを約1ヶ月間販売をしてきたことであります。

季節感あふれる県産品果物との新しいコラボは、お客様から好評をいただいております。

今年に入り茨城県主催の「いばらき苺おもてなしフェア」に参加。JA水戸イチゴ生産農家からのイチゴを使ったイチゴシェイクは、2月6日から販売。観梅シーズンの幕開けと共に2月いっぱいまで販売のこのメニューは大好評であり、24日間で約1,007杯を販売いたしました。

お知らせいたします。これから3月からは6周年記念として、水戸の銘菓「吉原殿中」を使ったミルクシェイクや、桃のミルクシェイクの販売を計画しております。是非ご賞味ください。

又、最近では人間の健康に役立つ機能性乳酸菌が多く開発され、各乳業メーカーのヨーグルトのCMもあって、数多く販売されております。

・整腸作用やプリン体の吸収を抑えたり・免疫機能を高めたり・ピロリ菌の抑制や内臓脂肪を減らす他、特定保健用食品指定の乳酸菌もあって、いわゆる機能性ヨーグルトとしての需要は健康食としての流れと食べ方も多様化しており拡大傾向にあります。

事実、15年の総務省家計調査による牛乳・乳製品支出金額は増加しており、牛乳を始めとして特にヨーグルト・チーズへの需要の高まりは顕著であります。

勿論、「ミルスタ」でもこの様な大手乳業メーカーの製品も販売しておりますが、この他、若さを保つ乳酸菌（県内メーカー）使用ヨーグルトも販売しております。

*水戸市は家計調査全国県庁所在地で乳製品消費額第3位・ヨーグルト第1位

昨年2回目を迎えた「ちくさんフードコレクション」にも、各イベントにも「ミルスタ」は「ミニミルスタ」として出展してまいりました。又、現在「ミルスタ」では、関東生乳販売提供毎週火曜日夜9時台放映番組のTBSテレビ「ミライ

ノジブン」のテーマ曲を（子供達が自然に口ずさむような音楽）牛乳をもっと身近に感じられるようにと店頭で流しております。季節にあった県産品果物とのコラボから、売り上げが毎年減少傾向にある2月においても前年を上回って推移しております。

以上のような流れを大切に「ミルスタ」を盛り上げていきたいと思っております。

茨城県牛乳普及協会は、県酪連職員と共に食育基本法制定（2005年6月10日）後、示された食育推進運動の展開として、以来、毎月19日の「食育の日」に水戸駅で牛乳普及PRのチラシ配りを続けており、又「ミルスタ」前を活用した各乳業メーカーPRの場にもなっております。

まだまだ「ミルスタ」を知らない人達がたくさんおりますが、地方イベントでの「ミニミルスタ」から、水戸駅南北通路の「ミルスタ」へ、是非足を運んでいただきたいと思っております。茨城県牛乳普及協会は、何か消費拡大・理解醸成の為「ミルスタ」からのヒット商品。県のブランド化事業からの新商品開発。試行錯誤をしながら牛乳との新しい出会いを求めて牛乳の消費拡大に貢献していきたいと考えてまいります。



デュロック種の系統造成について

茨城県畜産センター 養豚研究所育種研究室

当研究所では、平成23年度より優良なデュロック種作成に向け、系統造成を開始しました。今回の系統造成では、改良目標にロース中の筋肉内脂肪含量を5%に定めたことにより特徴的な豚肉生産が期待できます。

系統造成とは

基礎豚として集めた優良な種豚の集団を閉鎖群とし、一年一世代で数年に渡り選抜を行い、目標となる形質の能力を向上させ、血縁的に繋がりをを持った集団を作成します。

また、遺伝的能力を正確に評価するため、能力検定を行う際には、環境等の条件を揃える必要があります。できるだけ集中的に交配、分娩を実施します。

このように形成された、遺伝的に均一で優秀な能力を持つ集団を作る過程を系統造成といいます。

そして、系統豚は、高能力で、血縁的に繋がりががあるので、斉一性が高い（能力が均一でバラツキが少ない）という特徴があります。

今回の系統造成は

当研究所におけるデュロック種の系統造成は、国や他県などの系統豚や県内外の優良な種豚、輸入精液から生産した種豚を基礎豚とし、五世代選抜をくり返し行います。

集団の規模は、雄8頭、雌40頭とし、改良目標は、一日平均増体重を1,000g、飼料要求率を2.9、ロース中の筋肉内脂肪含量を5%と設定しました。

選抜方法は、その個体が持つ遺伝的な能力（総合育種価）を中心に選抜します。総合育種価はその個体の成績だけでなく、祖先（両親や祖父母など）や兄弟の成績も用いて算出します。

また、肢蹄の選抜については、肢蹄の模式図

に、歩様（ひねる・踏み込みが深いなど）の項目を追加した独自の評価方法を作成し、客観的に評価をします。

現在の成績

第三世代雌豚の繁殖成績と第四世代豚の成績は表1のとおりです。第四世代豚は改良目標に近づき、第三世代雌豚の繁殖成績も十分な成績です。

表1 現在の成績

◎第四世代豚の成績

●一日平均増体重	952.0g (1,000g)
●飼料要求率	3.1 (2.9)
●筋肉内脂肪含有量	4.4% (5.0%) (改良目標値)

◎第三世代雌豚の繁殖成績

●一腹平均分娩頭数	9.3頭
●一腹平均哺乳開始頭数	8.5頭
●生時平均体重	1.4kg

写真1は、筋肉内脂肪含量が約5%のロース肉で、脂肪交雑（サシ）が入っています。味に関しては、いばらき食のアドバイザー 藤原浩氏にお墨付きを頂きました。



写真1 筋肉内脂肪含量約5%のロース

写真2は、選抜した途中世代の雄豚です。幅・深み、そして骨量に富んでいます。改良目標や個体が持つ総合育種価に加え、外貌（肢蹄や体型など）の選抜にも力を注いでいます。

現在は第五世代の子豚が生産されています。



写真2 途中世代の雄豚

今後の計画

今回の系統造成は、平成28年度に第五世代豚を選抜し、完了します。系統豚の供給開始は、系統豚として認定される第五世代選抜豚より子豚が生産されてからとなりますので平成29年度を予定しています。

また、系統造成と並行して、途中世代の雄豚

を使った三元交雑豚の肉質（特に脂肪含量や脂肪交雑の入り具合）の調査を実施しています。

さらに、途中世代豚を利用したフィールドでの調査も計画しています。

最後に

今後、ますます外国産豚肉や国内産豚肉との産地間競争が激しくなっていくと予想される中、当研究所のデュロック種系統豚を活用することにより、茨城県産豚肉の品質の底上げにつながることを期待されます。

現在、途中世代雄豚の精液販売を実施しています。茨城県畜産センター養豚研究所までご連絡頂ければと思います。

連絡先

〒300-0508

茨城県稲敷市佐倉3240

茨城県畜産センター養豚研究所 育種研究室

TEL 029-892-2903 FAX 029-892-3384

農家の皆さん

飼養衛生管理状況の定期報告 提出お済みですか！

県南家畜保健衛生所

平成28年2月1日現在で報告対象家畜を飼養されている方は、家畜伝染病予防法により、家畜の飼養管理状況等を報告することが義務づけられていますので、よろしくお願ひします。

すでに、定期報告書の提出をお済みの方は、ご協力ありがとうございました。

(報告期限は、平成28年3月11日(金)まで)

これまでの背景

平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫は、我が国の畜産に甚大な被害をもたらしました。その教訓から被害を最小限に収めるためには、「発生の予防」「早期発見・通報」及び「迅速・的確な初動」の重要性が指摘されました。

そして、何より畜産農家自身も日頃から適正

に飼養衛生管理を実行することの大切さを痛感しました。さらに、その効果として、海外悪性家畜伝染病の侵入防止のみならず、慢性疾病の予防、育成率や増体率の向上など、経営面にも改善が見られています。

これからも、地域の仲間と協力・連係を取りながら、茨城県畜産業の発展に邁進していきましょう。

①報告対象家畜は、牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥

②報告内容：家畜の種類により、一部報告内容が異なりますので、確認願ひします。

報告様式は、下記の茨城県農林水産部畜産課ホームページ内にあります。

掲載先：<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/chikusan/kachiku/teikihokoku/teikihokoku.html>

○記入方法について、ご不明な点があれば、最寄りの家畜保健衛生所へお問い合わせ下さい。

連絡先

県北家畜保健衛生所 Tel：029-225-3241

鹿行家畜保健衛生所 Tel：0291-33-6131

県南家畜保健衛生所 Tel：029-225-3241

県西家畜保健衛生所 Tel：029-225-3241

第15回

茨城県堆肥コンクール表彰式及び 土づくりセミナー開催される

(公社) 茨城県畜産協会

家畜排せつ物の適正な管理とその有効利用に努め、良質な堆肥の生産と利用を実践している畜産農家を顕彰するため、(公社)茨城県畜産協会、茨城県堆肥利用促進協議会主催による第15回茨城県堆肥コンクールを開催し、上位入賞者の栄誉を称え、平成28年2月12日、茨城県農業総合センターにおいて表彰式を行いました。

このコンクールは、平成13年度の第1回から、毎年行い今回で15回を迎えました。今年度は、大家畜部門(乳用牛・肉用牛)を対象とし、乳用牛10点、肉用牛8点、乳肉複合経営1点の計19点の出品があり、官能審査、成分評価の項目を判定基準に基づいて審査し、更に、堆肥の生産、保管、流通状況や環境への配慮等を含めた現地審査により、総合的に評価して入賞5点が選定されました。

審査報告では、山本敏弘審査委員長(県畜産センター長)より、官能審査として色相・形状について、副資材の多少や堆積期間の違いによる差はありましたが、臭気については、強い不快臭がするものではなく良質な堆肥と評価されました。成分評価では、水分含量の平均は45.9%と良好な値でしたが、若干数値の高い堆肥もありました。肥料成分は、現物中の平均値が窒素1.2%、リン酸2.1%、カリ1.5%でした。土づくりの指標ともされる炭素窒素比(CN比)の平均は16.1となり、土づくりと同時に肥料的效果も見込める堆肥が多かったと評価を受けました。今回の最優秀賞は、(有)瑞穂農場で、堆肥はスクリー式攪拌機を使い堆肥舎で6ヵ月以上堆積して製造されています。肥料成分は窒素1.2%、リン酸1.5%、カリ1.2%とバランスがとれており、完成堆肥は適度な水分を含み成分評価の結果は良好で、官能審査の結果も良いことから取り扱い易い堆肥と評価されました。また、過去のコンクールにおいても、優秀賞と優

良賞に輝くなどの実績もあり、安定した堆肥生産がされていることが証明される結果となりました。

入賞者は下記のとおりとなります。

入賞者

最優秀賞

- ・有限会社 瑞穂農場 (常陸大宮市：乳肉複合)

優秀賞

- ・平沢 克人 (牛久市：乳用牛)

優良賞

- ・中村 公德 (水戸市：肉用牛)
- ・農事組合法人 華川牧場 (北茨城市：肉用牛)
- ・安達 政弘 (笠間市：肉用牛)

特別賞

- ・茨城県知事賞 有限会社 瑞穂農場
- ・茨城県農林水産部長賞 平沢 克人



表彰式のあとの土づくりセミナーでは、今回最優秀賞を受賞した(有)瑞穂農場による「牛糞堆肥の生産と利活用について」の事例紹介と牛久市の平沢克人氏から「命をつなぐウンコの堆肥」の優良事例紹介がありました。続いて、一般社団法人日本土壌協会 専務理事 猪股敏郎氏からは「堆肥の特性と効果的利用」についての講演がありました。

第59回茨城県肉用牛共進会

茨城県家畜商業協同組合

茨城県肉用牛振興協会が主催の第59回茨城県肉用牛共進会が、11月30日から12月3日、茨城県中央食肉公社で開催されました。

本共進会は、第55回農林水産祭参加行事として、出品牛は黒毛和種120頭で、茨城県家畜商業協同組合、茨城県畜産農業協同組合、全国農業協同組合連合会茨城県本部の3団体の常陸牛指定生産者が出品し開催されます。

各団体の出品頭数が40頭で募集をしましたが、ここ数年肥育素牛の生産が減少して価格も高騰しており、飼養頭数は減少傾向で、出品頭数が集まらず、残念ながら本年は94頭で開催されました。

出品牛の内訳は、去勢牛79頭、雌牛15頭、平均月齢は去勢牛29.4か月、雌牛29.1か月でした。産地は茨城県が29頭、北海道19頭、栃木県16頭の順でした。

去勢牛の枝肉重量は541.5kg、ロース芯面積は63.9cm²、バラの厚さ8.9cm、皮下脂肪の厚さ2.5cm、BMSNo.8.7、また雌牛の枝肉重量は450.2kg、ロース芯面積は61.7cm²、バラの厚さ8.2cm、皮下脂肪の厚さ2.7cm、BMSNo.7.7という成績でした。

格付け状況は、「常陸牛」に該当するA B - 4、5等級の格付け率が96.8%と高い評価でした。

審査では、枝肉重量に富み、バラの厚さの充実したものが多く、肉質の良いものも多く見受けられましたが、一方で、脂肪交雑、ロース芯面積、肉の色沢、脂肪の質などにばらつきが見られるものが見られたとの講評でした。

名誉賞に輝いたのは、つくば市の宮本守正さん出品の「久百合号」で父が百合茂、母の父が

安福久という血統で、枝肉重量が574kgあり、BMSNo.12で肉質が大変優れており、また造りが大きく無駄のない枝肉であるとのことでした。

最優秀賞に選定されたのは、石岡市の島田清さん出品の「晴晴号」で父が安福久、母の父が平茂晴という血統で、枝肉重量が595kgあり、BMSNo.12と立派な枝肉であったとの講評でした。

セリの状況は、全国的な出荷頭数の減少や牛肉需要の高まりで、長く低迷していた枝肉価格が急速に回復し、出荷牛全頭が枝肉単価2,000円以上で平均枝肉単価は2,500円以上となり、最近の枝肉相場では見たことのない高値で取引されました。特に名誉賞牛が4,499円、最優秀賞牛が3,001円でした。

肉用牛を取り巻く情勢は、枝肉相場が上昇しておりますが、素牛価格や配合飼料価格は依然高止まりしており、経営は厳しい状況にあります。また、TPP大筋合意に伴う脅威も高まっております。

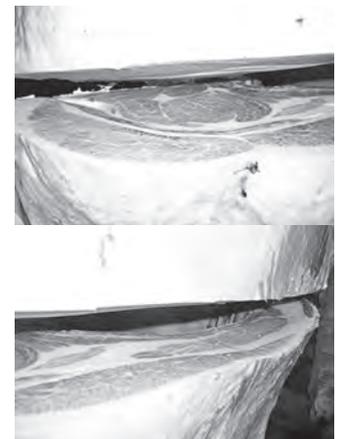
本年度は、常陸牛の生産が一万頭に迫ろうとしております。当共進会は肉用牛の県内最大の行事で、銘柄牛としてブランド化を一層高め、肉用牛経営の安定に寄与できるものと思っております。



写真左 宮本さん

【入賞者成績】

入賞等級	住所	出品者名	性別	血統		産地
				父	母の父	
名誉賞	つくば市	宮本守正	去勢	百合茂	安福久	広島県
最優秀賞	石岡市	島田清	去勢	安福久	平茂晴	栃木県
優秀賞1席	小美玉市	高木幸一	去勢	光平照	百合茂	北海道
優秀賞2席	常陸大宮市	(有)瑞穂農場	去勢	百合茂	安福久	茨城県
優秀賞3席	筑西市	倉持秀男	去勢	福華1	安福久	茨城県
優秀賞4席	茨城町	(株)大和	去勢	芳之	安福久	青森県
優秀賞5席	水戸市	吉成邦雄	去勢	美津照重	安福久	長崎県
優良賞	常陸大宮市	(有)中島牧場	去勢	金照	勝忠平	福島県
	つくば市	成島克己	去勢	光平照	勝忠平	岩手県
	行方市	青木雄一	去勢	安福久	平茂勝	鹿児島県
	茨城町	鬼沢祐二	雌	北国関7	平茂勝	茨城県
	筑西市	渋沢誠	去勢	百合茂	安福久	北海道
	常総市	佐藤治彦	去勢	安福久	勝忠平	茨城県
	鉾田市	研修農場	去勢	花国安福	安福久	千葉県
北茨城市	新妻洋治	雌	美国桜	金幸	北海道	



最優秀賞枝肉

平成28年 1 月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
6	一般子豚	78	18,792	10,260	16,800	50
	ベビー豚	375	19,224	9,720	16,782	35
20	一般子豚	38	18,036	4,536	15,737	50
	ベビー豚	316	18,360	7,452	16,179	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	51	812,160	400,680	657,254	280	2,345
		♂	1	450,360	450,360	450,360		
		去計	68	984,960	522,720	805,712	311	2,591
	F1	去計	120	984,960	400,680	739,656	296	2,496
		経産	1	237,600	237,600	237,600	-	-
		♀	14	409,320	220,320	349,226	270	1,291
	去計	♀	20	508,680	338,040	440,100	273	1,610
		去計	34	508,680	220,320	402,681	272	1,479

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
8	入場頭数	2	0	0	2	0	15	6	0
	成立頭数	2			0		5	6	
	最高(円)	83,160					81,000	77,760	
	最低(円)	77,760					43,200	64,800	
	平均(円)	80,460					58,320	69,300	

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	34	903,960	399,600	690,342	267	2,577
		♂	1	596,160	596,160	596,160	250	2,384
		去計	41	974,160	488,160	778,864	295	2,640
		去計	76	974,160	399,600	736,858	282	2,610

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉：毎週月曜日、木曜日						
	項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数			
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛	
豚	12,719.0	79.0	455	448	429	391	323	416	24,221	726.0	
牛			5	4	3	2	1				
			平均単価(円)								
和牛	A	186	208	475.8	2,838	2,639	2,433	1,620	-	2,655	
	B	19			2,555	2,469	2,325	1,232	875		
	C	3			-	-	1,407	688	-		
乳牛	A	-	132	300.2	-	-	-	-	-	640	
	B	7			-	-	-	715	-		
	C	125			-	-	-	685	577		
交雑牛	A	12	107	492.2	1,907	1,880	1,760	1,555	-	1,635	
	B	80			-	1,827	1,648	1,498	-		
	C	15			-	-	1,545	1,313	546		

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	5, 9, 15, 19, 25, 29			
				頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	去計	♀	7	204,120	2,160	93,189
			♂	160	130,680	5,400	97,268
			去計	167	204,120	2,160	97,097
	子牛	去計	♀	1	130,680	130,680	130,680
			♂	1	140,400	140,400	140,400
			去計	2	140,400	130,680	135,540
F1	スモール	去計	♀	87	226,800	54,000	159,865
			♂	117	324,000	33,480	248,825
			去計	204	324,000	33,480	210,886
	子牛	去計	♀	1	205,200	205,200	205,200
			♂	1	205,200	205,200	205,200
			去計	1	486,000	486,000	486,000
黒毛和種	子牛	去計	♀	1	486,000	486,000	486,000
			♂	1	486,000	486,000	486,000
			去計	2	518,400	277,560	397,980
		3歳以上	♀	2	518,400	277,560	397,980

地方競馬 場外発売日程

「オフトひたちなか」TEL：029-265-5800

*発売日程は、変更になることがあります。

2016年4月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
オフトひたちなか	川崎				大井						船橋									大井						浦和				

○東京スプリント

○マリーンカップ

○羽田盃

○しらさぎ賞

○東京プリンセス賞

2016年5月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
オフトひたちなか			船橋							川崎							大井								川崎					浦和	

○東京湾カップ
○おかしわ記念

○大井記念

○川崎マイラーズ

1月の鶏卵価格差補てんは13.005円

止市から大幅安でスタートした1月の卵価は、月末に200円まで回復したものの、鶏卵生産者経営安定対策事業の価格差補てん事業の標準取引価格は、基準価格の188円を下回る173.55円で、補てん単価は13.005円となった。補てんは昨年1月以来となりました。

平成28年2月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
3	一般子豚	38	16,092	4,860	13,068	50
	ベビー豚	306	18,360	6,264	15,634	35
17	一般子豚	19	21,384	20,952	21,180	50
	ベビー豚	269	20,304	17,496	19,085	35

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
	入場頭数 成立頭数 最高(円) 最低(円) 平均(円)	開催なし							

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉；日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉；毎週月曜日、木曜日					
	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数			
項目	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	15,206.0	78.7	556	518	501	467	351	485	27,197	795.0
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A	178	204	2,810	2,628	2,381	1,682	-	2,575	
	B	21		2,613	2,458	2,327	1,165	-		
	C	5		-	-	-	1,026	651		
乳牛	A	-	221	-	-	-	-	-	616	
	B	28		-	-	1,080	678	616		
	C	193		-	-	-	644	563		
交雑牛	A	13	87	1,944	1,749	1,699	1,387	-	1,549	
	B	69		1,845	1,727	1,598	1,277	-		
	C	5		-	-	1,513	1,061	-		

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	53	854,280	415,800	659,534	275	2,402
		♂	0					
		去計	51	981,720	358,560	825,056	305	2,702
		計	104	981,720	358,560	740,703	290	2,557
F1	和牛	経産	6	578,880	174,960	335,700	-	-
		♀	7	387,720	325,080	354,086	271	1,307
		去計	24	468,720	282,960	421,380	272	1,552
		計	31	468,720	282,960	406,185	271	1,497

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀ ♂ 去計		開催なし				

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	頭数	5, 9, 15, 19, 25, 29		
					最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	子牛	♀	3	30,240	23,760	27,000
			♂	149	137,160	5,400	101,317
			去計	2	108,000	89,640	98,820
	子牛	♀	154	137,160	5,400	99,837	
		♂	1	103,680	103,680	103,680	
		去計	1	163,080	163,080	163,080	
F1	スモール	子牛	♀	2	211,680	108,000	159,840
			♂	4	211,680	103,680	146,610
			去計	100	232,200	65,880	168,318
	子牛	♀	101	308,880	12,960	261,585	
		♂	201	308,880	12,960	215,183	
		去計	1	178,200	178,200	178,200	
黒毛和種	子牛	♀	1	178,200	178,200	178,200	
		♂	1	498,960	498,960	498,960	
		去計	2	549,720	519,480	534,600	
	3歳以上	♀	3	549,720	498,960	522,720	
		♂	12	561,600	249,480	407,700	
		去計	12	561,600	249,480	407,700	

新マルキン発動状況

期	支払方式	肉専用種	交雑種	乳用種
平成27年12月	確定単価	-	-	-
	(免除牛)	(-)	(-)	(-)
平成27年11月	確定単価	-	-	-
	(免除牛)	(-)	(-)	(-)
平成27年10月	確定単価	-	-	-
	(免除牛)	(-)	(-)	(-)

(注)

平成26年4月期の補填金交付から、四半期の最終月以外については、補填金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをすることになりました。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、平成26年4月から消費税抜きで算定されています。

○茨城県において補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、補填金単価を減額することがあります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

重要

ラップサイレージは産業廃棄物 として正しい処理を

畜産農家の皆様へ

排出事業者（農家）の責任

畜産業で生じるラップサイレージやバンカーシートは廃棄物処理法により「産業廃棄物」とされており、排出事業者（農家）は自らの責任において適正に処理するか、許可された収集運搬業者、処分業者に委託することが義務付けられています。

市町村等による支援

市町村では、協議会を設立し、委託契約書を作るお手伝いや、収集場所・日時の設定、収集運搬業者や処分業者の手配等、排出事業者を支援しています。

罰 則 等

- ◆ 排出事業者が、許可された業者に直接委託する場合は、委託契約の締結、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の発行、A票の他、B2、D、E票の回収と5年間保管、県知事への交付状況等の報告が義務付けられています。
- ◆ 排出事業者がマニフェストを交付しない場合は、6ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金となります。
- ◆ 排出事業者が不法投棄・不法焼却（野焼き）等をした時は、5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金（法人は3億円）、又はこの併科となります。
- ◆ 委託した業者が処理できなくなったり、不法投棄等を行った場合には、排出事業者もその責任を負わされる場合があります。違法収集に十分ご注意ください。

お問い合わせ先

・市町村の農政担当部署又は
 ・公益社団法人茨城県農林振興公社 園芸リサイクルセンター
 〒311-3137 茨城県東茨城郡茨城町網掛1154番1
 TEL 029-293-6800 FAX 029-293-6860



茨城県銘柄鶏

奥久慈
しゃも

奥久慈しゃも生産組合
 〒319-3523 茨城県久慈郡大子町袋田3723
 TEL / 0295-72-4250
 FAX / 0295-72-2944

いばらき地鶏

わたしたちは人と動物の「これから」を真剣に考えています



Ⓜ 森久保薬品株式会社
 水戸市笠原町1538-4 TEL/029-241-3131
 FAX/029-241-3187
<http://www.morikubo.co.jp> <http://www.haccp.jp>

県内唯一の食肉地方卸売市場

株式会社 **茨城県中央食肉公社**

代表取締役社長 角田 芳夫

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975
 TEL / 029 (292) 6811 (代)
 FAX / 029 (292) 6895
 H P / <http://ibaraki-kousha.co.jp/>

市場開催日 { 豚枝肉 (日曜・祭日等を除く毎日)
 牛枝肉 (毎週月・木曜日)

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL / 029 (231) 7501 FAX / 029 (222) 2032

- 当協会に対する意見・要望
Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp
- 本紙への掲載「催事・各種情報」
Eメール chikusan@ibachiku.com
- ホームページ
<http://ibaraki.lin.gr.jp>